



令和7年度 練馬区立田柄小学校 学校評価報告

保護者の皆様には、教育活動アンケートにご協力いただき、ありがとうございました。児童、保護者、教員のアンケート結果に基づき、学校評議員会（2月19日）にて学校関係者評価を実施しましたので、ご報告いたします。教育目標の実現につながるよう次年度の計画に反映していきます。

令和7年度アンケート項目・設問(アンケート回答率 保78.8.% 児93.9% 教100%)

※令和6年度回答率 保73.0.% 児96.8% 教100% ※保護者回答率は児童数に対しての数

		設問	R7	R6
確かな学力の定着と向上および 健やかな体を育成する教育	①	保 学校は、わかる授業、身に付く授業、表現する授業に努めている。	93.0	94.2
		児 自分からすすんで学習することができる。	85.7	85.5
		教 教師は、主体的・対話的で深い学びに向けた授業づくりに努めている。	96.4	91.3
	②	保 お子さんは、授業の内容を理解している。	89.0	89.8
		児 学習内容がわかっている。	94.5	92.4
		教 児童は、授業の内容を理解している。	89.3	95.6
	③	保 学校は、「読書旬間」や学校図書館の環境整備等を通して、読書や活字に親しむ子供の育成に努めている。	93.0	94.2
		児 読書旬間や図書の日などに、すすんで本を読もうとしている。	83.6	80.8
		教 学校は、「読書旬間」や学校図書館の環境整備等を通して、読書や活字に親しむ子供の育成に努めている。	96.5	91.3
	④	保 学校は、子供の体力向上のための取組をし、外で遊んだり、進んで運動したりする子供の育成に努めている。	89.0	93.9
		児 体育の時間や休み時間に、すすんで体を動かしている。	90.8	88.6
		教 学校は、子供の体力向上のための取組をし、外で遊んだり、進んで運動したりする子供の育成に努めている。	96.4	100

【概要】

学力向上に関して、保護者からは概ね90%の肯定的な評価をいただくことができた。設問①②から教員は主体的・対話的で深い学びに向けた授業づくりに努めているが、授業の内容理解にはさらに工夫の余地があると考えている。一方、設問②では、「学習内容がわかっている」と答えた児童の割合が94.5%と高くなっている。これは、学校経営方針の基本姿勢として、「教師が加点的な指導を心掛け、子供に自信と自己肯定感を育てること」を実践した成果と考えられる。

【学校評議員より】

- ・本を読むのが好きな子は図書室をよく利用している。
- ・宿題の必要性を考えることは大切だと思う。
- ・放課後も公園で体を動かすスポーツをしている子を多く見かける。活発な子は多い印象である。
- ・今の時代は自宅でゲーム、習い事等で、外で遊んでいる子供は少ないため体力の向上は課題である。

【次年度に向けて】

- ・話す・聞く・発表・交流・振り返りの基本を大切に問題解決的な学習と学び合いを工夫し、授業改善を図っていく。教員一人一人の専門性を活かし、研修や授業観察を通じて、授業力の向上に取り組む。

- ・日々の家庭学習や長期休業中の宿題について、学年が上がるにつれて段階的に自主的な取り組みとなるよう工夫する。
- ・外遊び、体育的活動を通じて、体を動かすことの楽しさを味わうことができる取り組みを継続する。

		設問	R7	R6
豊かな心を育成する教育 人権を尊重する教育および	⑤	児 楽しく学校に通っている。	90.8	91.1
		保 お子さんは、すすんであいさつをしている。	74.0	76.7
	⑥	児 昨年度より、あいさつができるようになった。	90.6	90.7
		教 児童は、すすんであいさつをしている。	71.4	60.8
	⑦	保 学校は、あいさつや学校のきまりを守ることなど、集団生活を送る上での基本的な生活習慣が身に付くように指導している。	92.0	96.6
		児 昨年度より、「たがらっ子せんげん5」など学校のきまりを守ることができるようになった。	89.4	87.9
		教 学校は、あいさつや学校のきまりを守ることなど、集団生活を送る上での基本的な生活習慣が身に付くように指導している。	96.4	95.7
	⑧	保 お子さんは、いじめはいけないことだと理解し、相手の気持ちを考えて行動している。	95.0	96.0
		児 友達にやさしい言葉遣いをして、なかよくしている。	90.8	90.7
		教 児童は、いじめはいけないことだと理解し、相手の気持ちを考えて行動している。	96.5	95.6
	⑨	保 学校は、たてわり班活動や異学年間の交流行事、学習などで、児童の豊かな関係づくりに努めている。	93.0	97.0
		児 たてわり班の活動や他の学年との交流などで、いろいろな学年の子となかよくなれた。	77.2	84.9
		教 学校は、たてわり班活動や異学年間の交流行事、学習などで、児童の豊かな関係づくりに努めている。	92.9	95.7

【概要】

設問⑤では、90%を超える児童が「楽しく学校に通っている」と回答しているが、そうでない児童へのケアが重要である。設問⑥「あいさつ」については、保護者・児童・教員で認識に大きな差がある。児童があいさつする場面が限定的であり、児童は「あいさつしている」つもりでも、大人から見ると、「できていない」と感じる人が多いのではないかと考えられる。地域の方から「あいさつがよくできている」という声をいただくことも多い。設問⑧「いじめ防止」では、児童の人権意識を高めるとともに、引き続き全職員が子供の側に立った受容的な態度に努め、悩みや不安を抱えた児童が相談しやすい環境・雰囲気を整えていくことが児童のトラブルやいじめの早期発見、早期対応につながる重要なポイントだと考える。

【学校評議員より】

- ・公園で遊ぶ子供達の様子を見ていると、集団で話をしながら遊んでいる子が多いと思う。
- ・学校に来校した際、児童の多くがあいさつをしてくれる。多くの子は笑顔であいさつをしてくれるので気持ちが良い。「あいさつ」がなぜ大切かをくり返し指導してほしい。これが心の通い合いとなり「信頼」につながることをわかってほしい。
- ・友達同士やたてわり班などで、人と人とのつながりがより一層深まるとよい。
- ・異学年との交流、関係づくりにおいて児童の肯定的評価が77.2%と低く感じるが、普通はほかの学年と話すことはないので、月に一度でも話す場があるのは大切だと思う。

【次年度に向けて】

- ・「時と場に応じたあいさつ」について、大人側からの働きかけと児童の主体的な取り組みを促すきっかけ作りが必要である。「たがらっ子宣言5」や児童発案の取り組みを具体化し、児童の意識を高めていく。

		設問	R7	R6
家庭および地域社会に開かれた学校	⑩	保 学校は、子供についての連絡、相談に適切に対応している。	89.0	90.8
		児 学校で困ったことがあったとき、担任や専科の先生、相談室の先生に相談することができる。(困ったことがあった児童のみ回答)	81.0	73.2
		教 学校は、子供についての連絡、相談に適切に対応している。	100	91.3
	⑪	保 学校は、保護者会や学校公開、学校だより、学年だよりなどのお便り、ホームページ、学校連絡メール等で、学校の活動や取組を伝えている。	97.0	97.3
		教 学校は、保護者会や学校公開、学校だより、学年だよりなどのお便り、ホームページ、情報伝達サービス等で、学校の活動や取組を伝えている。	100	100

【概要】

設問⑩「学校で困ったことがあったとき、担任や専科の先生、相談室の先生に相談することができる」と答えた児童の割合が73.2%から81.0%に向上したことはよい傾向である。学校内外の教育相談体制について、児童・保護者への周知が進んでいることや、教職員が担当学級や教科以外の児童にも積極的に声を掛け、かかわろうとしていることに一定の効果があったと考える。

【学校評議員より】

- ・子供の悩みを大人、先生がいち早くつかみ、話をさせる機会をもつこと。子供たちが気兼ねなく相談できるような関係をより築けるとよいと思う。
- ・昨年に比べ、子供が相談できる環境が整っていると感じた。児童館も地域の施設として、いつでも相談できる関係性を築いていきたい。
- ・「家庭及び地域社会に開かれた学校」の意味として①双方向の情報②双方向の交流…行事との関係のありようは安全面の観点からも精査する必要があるかと考える。
- ・令和9年度に行われる開校70周年行事に向けて、今後、周年実行委員会準備委員会を経て周年実行委員会を組織し、周年行事に向けた準備を進めていく。
- ・卒業記念餅つき大会が始まり36年経つが続いており、伝統を感じる。

【次年度に向けて】

- ・今年度、不登校対策として別室登校「ほっとルーム」を開設した。年間を通じて利用する児童がおり、ほっとルームをベースとして学級での学習に参加する機会が増えた。このことにより、保健室が本来果たす役割に集中できるようになった。支援員の勤務時数を確保し、実施日を増やせるようにしていく。
- ・適切な媒体を使い分け、学校からの情報が過不足なく確実に保護者の方に届くよう、工夫、努力する。
- ・令和9年度に迎える開校70周年の記念行事について、準備委員会、実行委員会を組織し、地域、PTAとの協力の下、計画する。

令和7年度 学校評議員 (敬称略)

吉田 茂雄 森田 洋子 岩渕 拓也 小島 直樹 荒木 直紀 塩野 由紀子
古閑 博美 冷水 了 橋本 国彦 向井 太一 鈴木 章寛

保護者の皆様からいただきました、主なご意見への回答を裏面に掲載いたします。すべてに回答できませんが、考慮しながら今後の教育活動に活かしてまいります。なお、いただいたご意見は個人が特定されるものを除いてホームページにてご覧いただけます。

貴重な改善へのご指摘と併せて、教職員の励みになる温かな言葉も多数いただき、感激しております。ありがとうございました。来年度も「元気いっぱい 笑顔いっぱい 田柄っ子 みんなで育てる 田柄っ子」の育成にお力添えをよろしく願いいたします。

主なご意見への回答

【宿題、家庭学習について】

▼授業中だけでは、学習の定着を図ることは難しく、日頃より各ご家庭で音読などの宿題を含む家庭学習にご協力いただいています。児童が主体的に学びに向かうことができるよう促していくため、本校では、日々の家庭学習や長期休業中の宿題について、学年が上がるにつれて段階的に主体的な取り組みとなるよう、①～③の方針の下、全体で内容などの共有を図っています。①毎日、学年×10分の家庭学習ができる児童を目指す。②「家庭学習トライ週間」の取り組み、長期休業中の宿題を精選する。③年間を通じ、自主学習の取り組みを継続する。(中学年以上)

低学年では学習の習慣化、中学年では、「学び方」を学ぶことを意図しながら高学年での「自主学習」へと移行できるように、教師が主導する部分と児童に任せる部分の比率を調整していくようにしています。時間にゆとりがある長期休業中は、既習事項の習熟や苦手なところの復習、さらに、普段はできないことにじっくり取り組むことができるため、一律にはせず、個に応じた学習が進められるようにしていますが、進め方が難しい場合には、ぜひ担任にご相談ください。

【生活指導、あいさつについて】

▼生活指導においては、年間を通じてあいさつの指導を重点化し、看護当番を中心に指導を継続しています。朝や校舎内でのあいさつは全体的によく行われていると感じますが、登校班の集合場所等、地域でのあいさつの状況が十分でないというご意見をいただきました。「いつでも、どこでも、気持ちを込めた元気な挨拶ができるよう、大人側から働きかけるとともに、児童の主体的な取り組みを促すきっかけ作りが必要です。3学期に各学級で話し合った挨拶励行の取り組みを具体化し、児童の意識を高めていきます。

【健康・安全対策、環境整備について】

▼5月～10月は暑さ対策、11月以降は感染症対策など健康・安全への対応に留意する必要性が高まりました。特に、3階教室はエアコン機能が追い付かないほどの気温上昇により、学習環境として適さない日も多くありました。今後エアコンの更新、増設による問題解消を待つ間、一時的に使用教室を変更したり、積極的に体育館を使用したりするなどして、可能な限り環境改善に柔軟に対応していきます。

▼今年度の水泳指導も開始時期を早め、6月上旬から行いましたが、猛暑下での夏季水泳については、気温・水温の上昇、熱中症アラートの状況から実施が困難になっているため、今後の実施については引き続き検討します。(校舎内工事のため、来年度の夏季水泳は行わない予定です。)

▼学級閉鎖の実施判断について透明性あるプロセスを、というご意見がありました。欠席者が多かったのに学級閉鎖にならなかったのご心配だったとのことでした。インフルエンザの場合、発症から5日、熱が下がってから2日経過するまでが出席停止となりますが、学級閉鎖については罹患者の数だけでなく、発症の状況、経過、罹患していない児童の状況、休日(曜日)等を考慮し、学校医、区学校保健係に相談の上、判断しています。その都度の詳しい経過はお知らせしていませんがそのようにご理解いただけますと幸いです。特に感染症が流行する時期は、少しでも体調がすぐれない場合、無理をせず早めに休むようにしてください。

▼就学時健康診断について、内科問診を着衣で行うことについて要望いただきました。来年度の実施について、学校医と検討を重ねています。併せてパーテーションの配置など考慮いたします。

▼登校班については、旗持ち当番等の負担が大きいとのご意見をいただいています。廃止を要望される声もありますが、学区域通学路の状況や低学年児童の登校状況などを鑑みると、児童の安全を第一に考えた集団登校の意義は大きいといえます。現在、PTAが主体となって組織しているものですので、多面的に検討していく必要があると考えています。

【その他】

▼ホームページの更新が減り、残念とのお声をいただきました。楽しみに見てくださっていた方には大変申し訳ありませんでした。児童の様子をお伝えする場として、積極的な活用に努力してまいります。

▼教員のメンタルヘルスを良好に保つことが教育活動に反映するのご意見、まさにその通りです。教育活動の充実と教員の働き方改革とのバランス考えた学校運営を目指します。